

東京都保育士実態調査 結果の概要

東京都では、今後の保育士確保、定着及び再就職支援策のための基礎資料とすることを目的に、「東京都保育士実態調査」を実施しました。調査結果の概要は、以下のとおりです。

1 東京都保育士実態調査概要

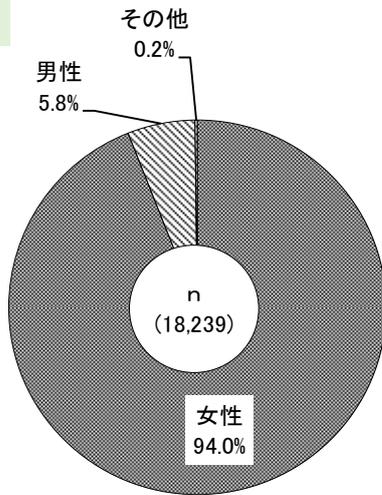
- (1) 調査対象 | 平成29年4月から令和4年3月までの東京都保育士登録者等(書換え登録等を含む。) 52,856人
- (2) 調査方法 | インターネット回収・一部郵送回収併用
- (3) 調査実施期間 | 令和4年7月25日から令和4年8月14日
- (4) 回収数 | 有効回収数18,239件(有効回収率39.7% 宛先不明6,926件を除く。)
- (5) 調査項目 | 対象者プロフィール、現在保育士就業者の実態、過去保育士就業経験者の実態、保育士就業未経験者の実態 等
- (6) 調査実施機関 | 株式会社サーベイリサーチセンター

2 概要版の見方

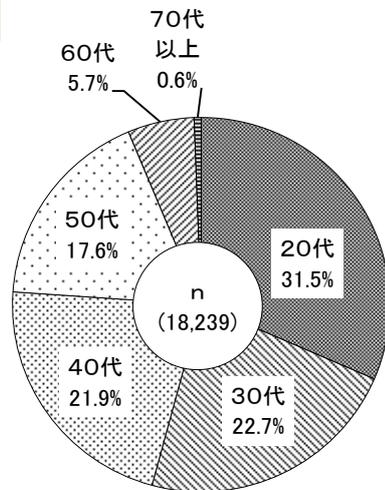
- 本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- 無回答については、0.1%未満のため、表記を省略しています。
- 調査結果の数値は、回答率(%)で表示しています。回答率(%)の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数は「n」で示しています。
- 回答率(%)については、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しています。このため、その合計数値は必ずしも100%とはならない場合があります。
- 回答には、単数回答(○は1つ)と複数回答(○はいくつでも)の2種類があります。複数回答の場合、その回答率(%)の合計は100%を超える場合があります。
- 図表の問のタイトル及び回答の選択肢は、簡略化して表現している場合があります。正式な問のタイトル及び回答の選択肢は、調査票を参照ください。

2 調査対象者のプロフィール

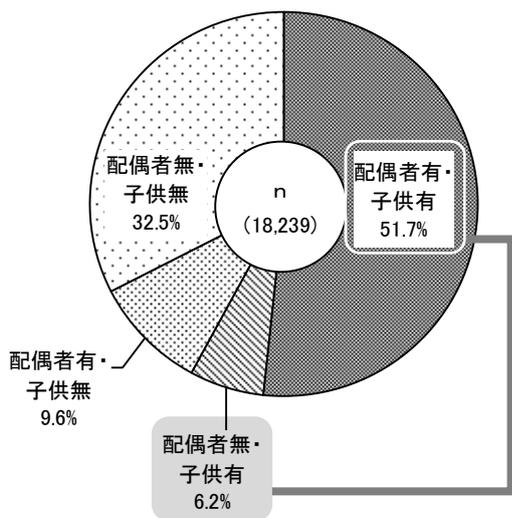
性別



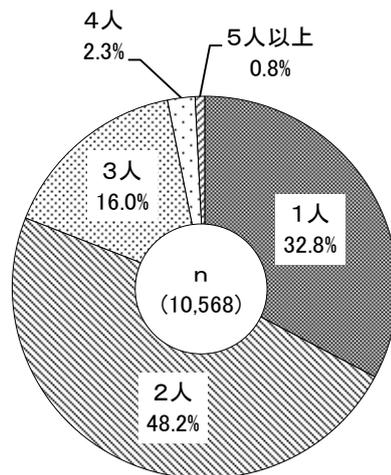
年齢



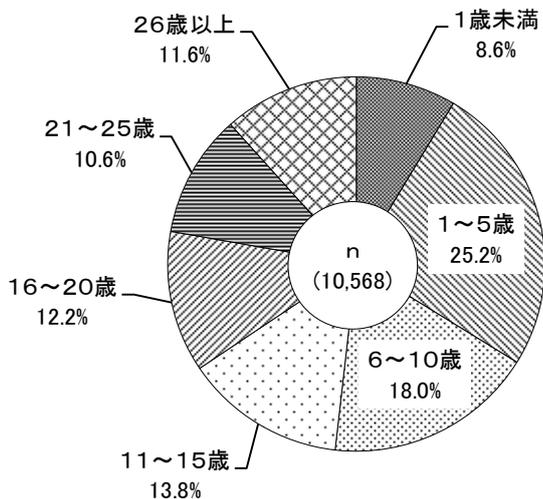
配偶者と子供の有無



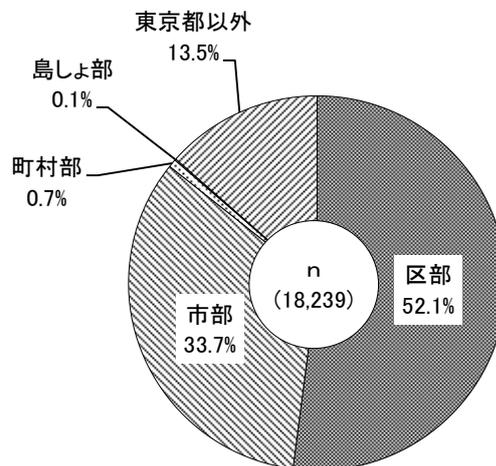
子供の人数



末子年齢

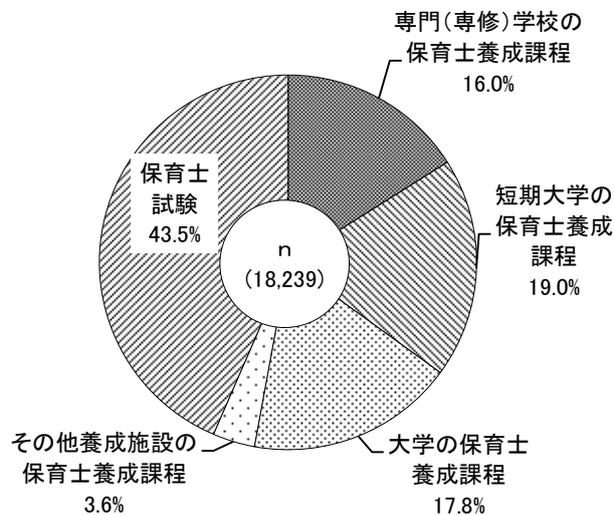


現在の住まい

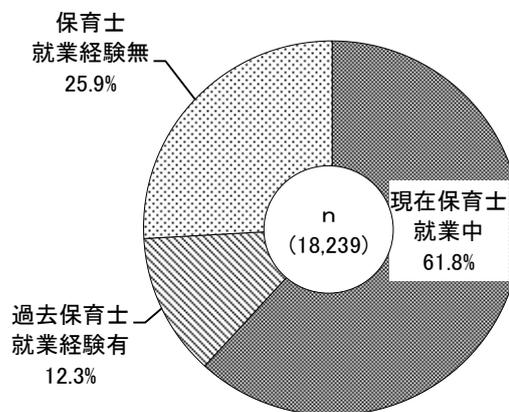


3 保育士有資格者全体の実態

保育士資格の取得方法



現在の就業状況

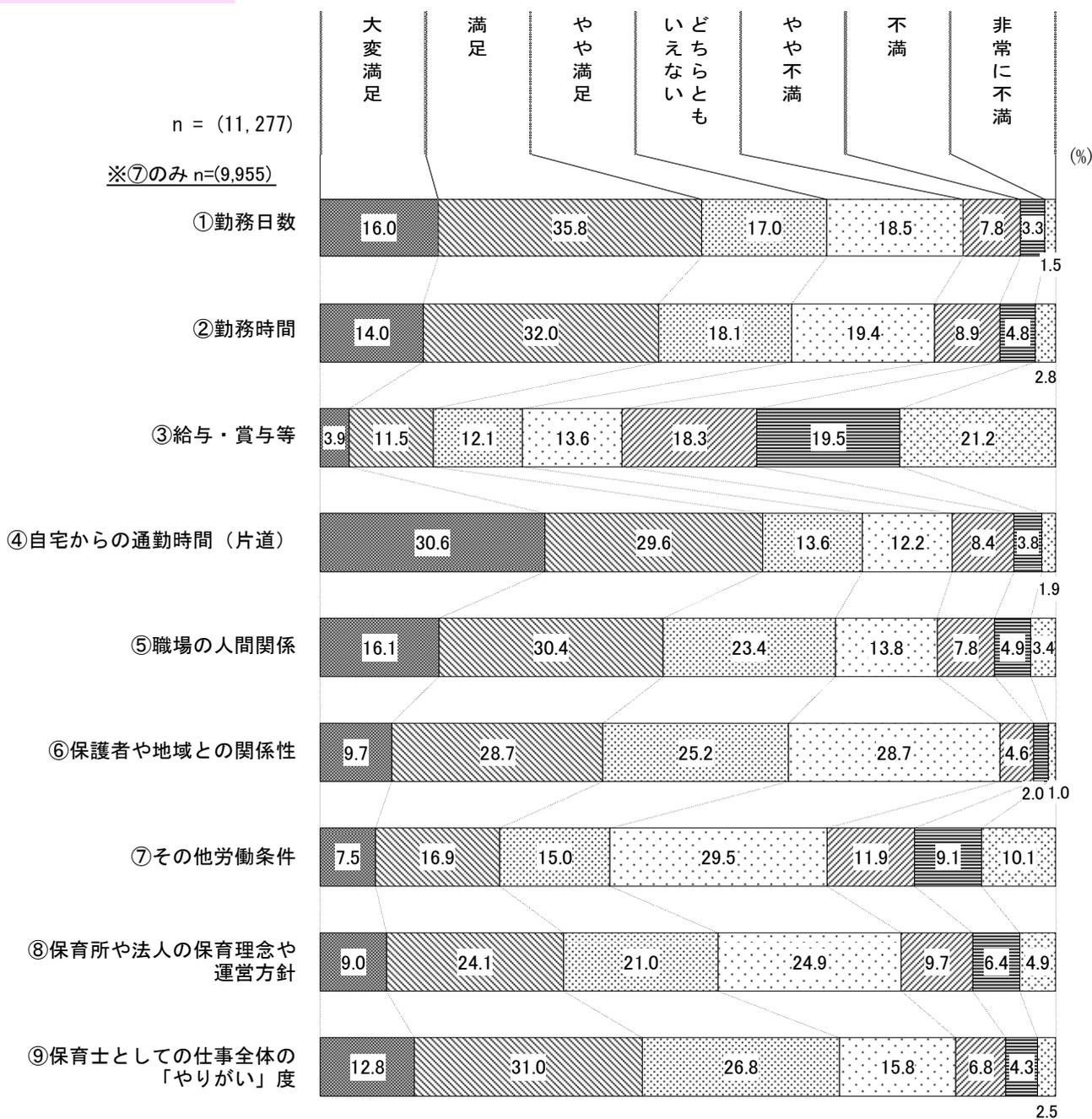


○調査回答者のうち、指定保育士養成施設(専門学校/短期大学/大学/その他)での資格取得者は5割台半ば(56.4%)、保育士試験での資格取得者は4割台半ば(43.5%)となっている。

○調査回答者のうち、現在保育士として就業中は、6割強となっている。

4 保育士就業中の者の実態

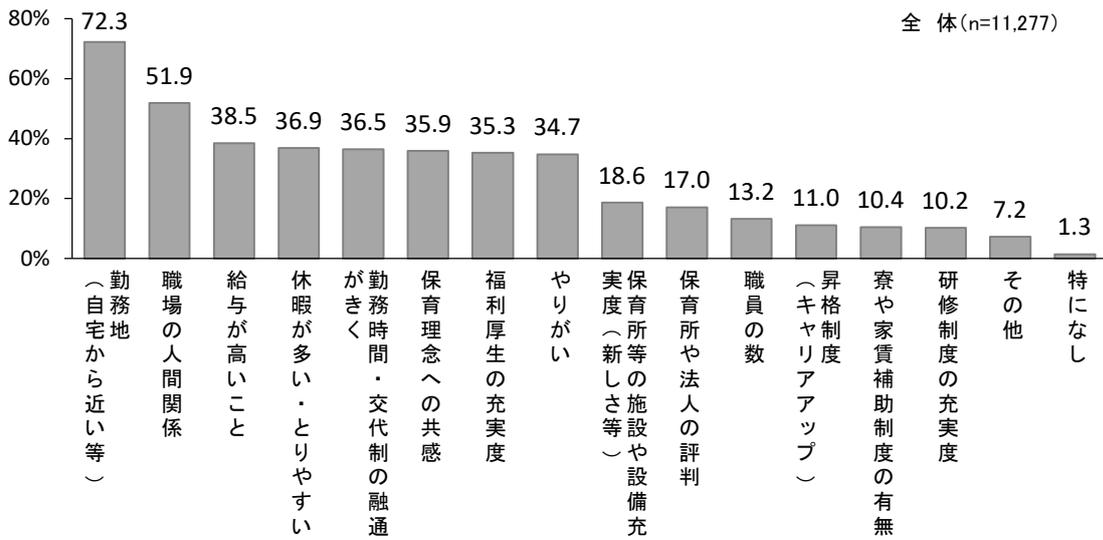
現在の職場の満足度



※「⑦その他労働条件」は、選択肢「その他の労働条件はない」と回答した方を除いて集計

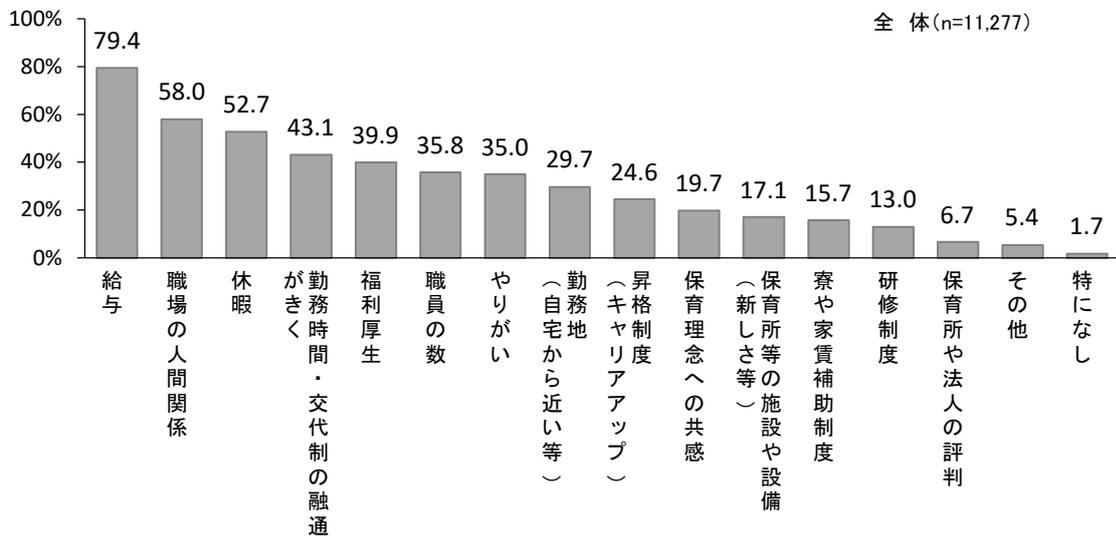
○現在の職場の満足度については、①勤務日数、④自宅からの通勤時間(片道)、⑤職場の人間関係、⑨保育士としての仕事全体の「やりがい」度で、『満足』(「大変満足」～「やや満足」の合計)の割合が約7割から7割台半ばと高く、③給与・賞与等が約3割と最も低くなっている。

職場選択時に重視した項目(複数回答)



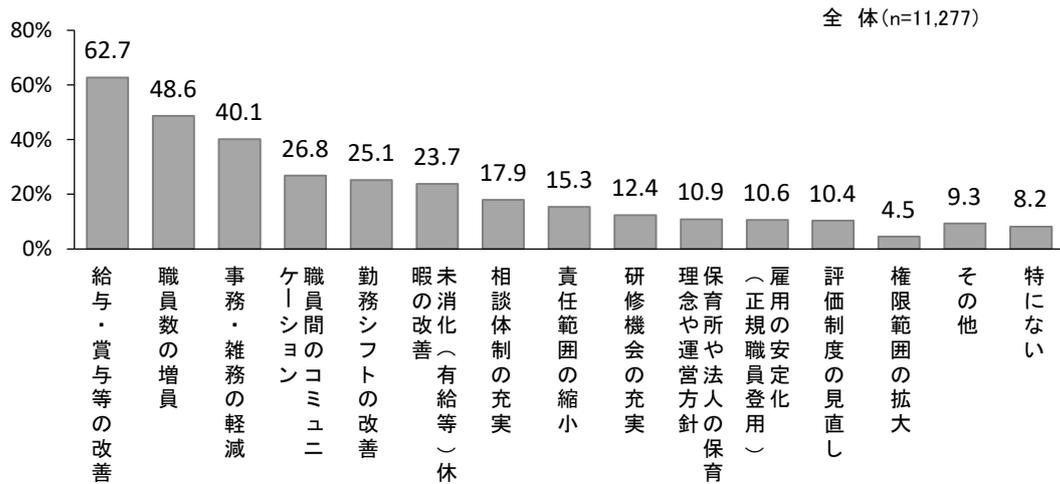
○職場を選択する際に重視した項目は、「勤務地」が7割強(72.3%)で最も多く、次いで、「職場の人間関係」が5割強(51.9%)となっている。そのほか「給与が高いこと」、「休暇が多い・とりやすい」、「勤務時間・交代制の融通がきく」、「保育理念への共感」、「福利厚生の実度」、「やりがい」が3割台となっている。

現在の職場で働き続けるために充実を希望する項目(複数回答)



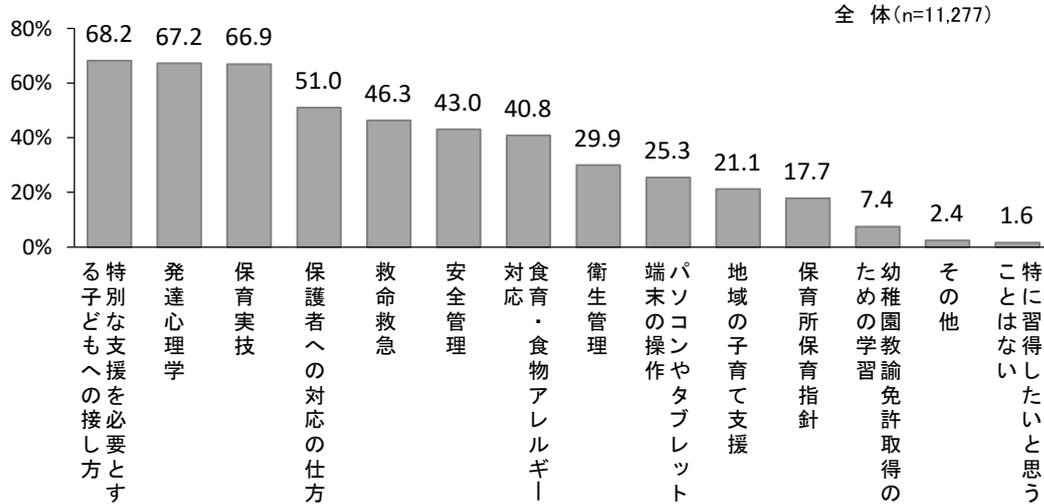
○現在の職場で働き続けるために充実を希望する項目は、「給与」が約8割(79.4%)で最も多く、次いで、「職場の人間関係」(58.0%)、「休暇」(52.7%)、「勤務時間・交代制の融通がきく」(43.1%)となっている。

現在の職場で改善を希望する項目(複数回答)



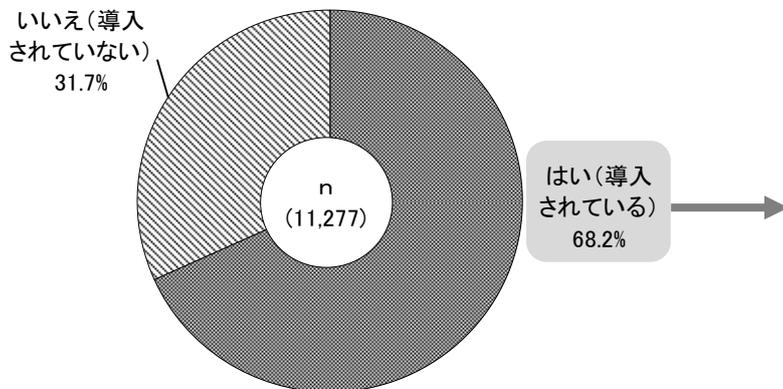
○現在の職場で改善を希望する項目は、「給与・賞与等の改善」が6割強(62.7%)で最も多く、次いで、「職員数の増員」(48.6%)、「事務・雑務の軽減」(40.1%)となど、勤務条件や労働条件に関する項目が高い割合を示している。

習得を希望する知識・技術(複数回答)

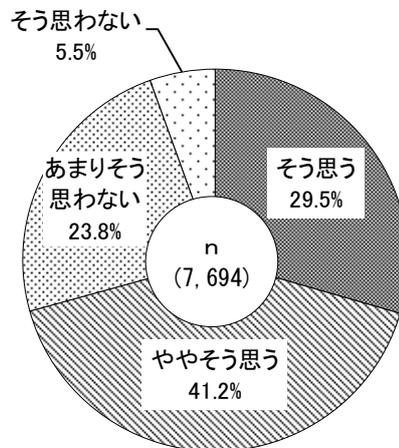


○習得を希望する知識・技術は、「特別な支援を必要とする子どもへの接し方」(68.2%)、「発達心理学」(67.2%)、「保育実技」(66.9%)が6割台で習得を希望している。これに「保護者への対応の仕方」が5割強(51.0%)で続いている。

保育業務支援のためのシステム導入の有無

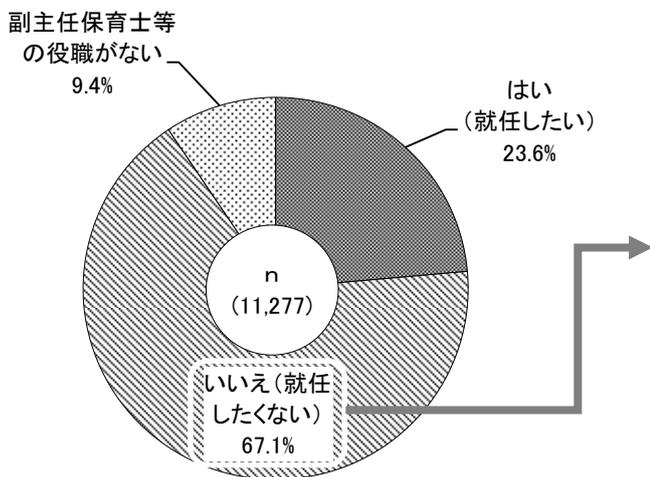


システム導入による負担軽減

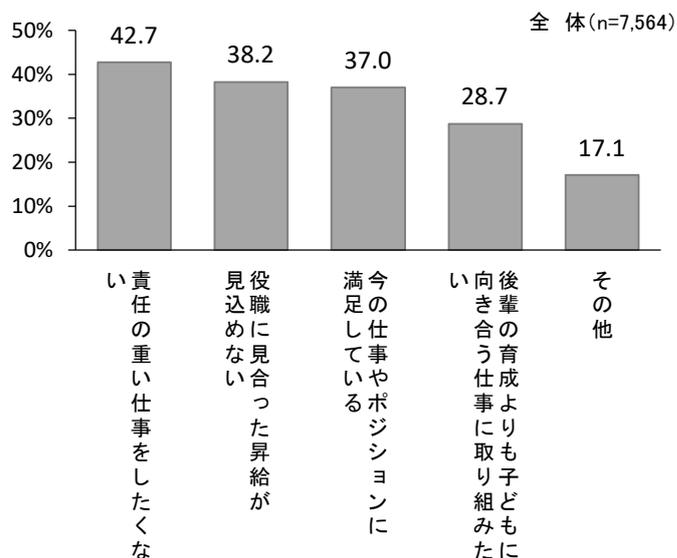


○保育業務支援のためのシステム導入の有無は、「はい(導入されている)」が約7割(68.2%)となっている。
 ○導入されていると回答した人に、それが業務負担の軽減につながっているか聞いたところ、「そう思う」(29.5%)と「ややそう思う」(41.2%)をあわせた『そう思う』が7割(70.7%)を超え、『そう思わない』(「あまりそう思わない」と「そう思わない」の計)が約3割(29.3%)となっている。

役職(上位の役職)への就任希望の有無

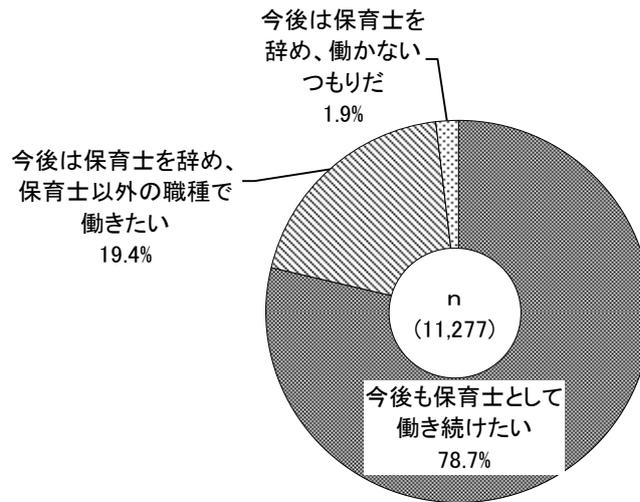


就任を希望しない理由(複数回答)



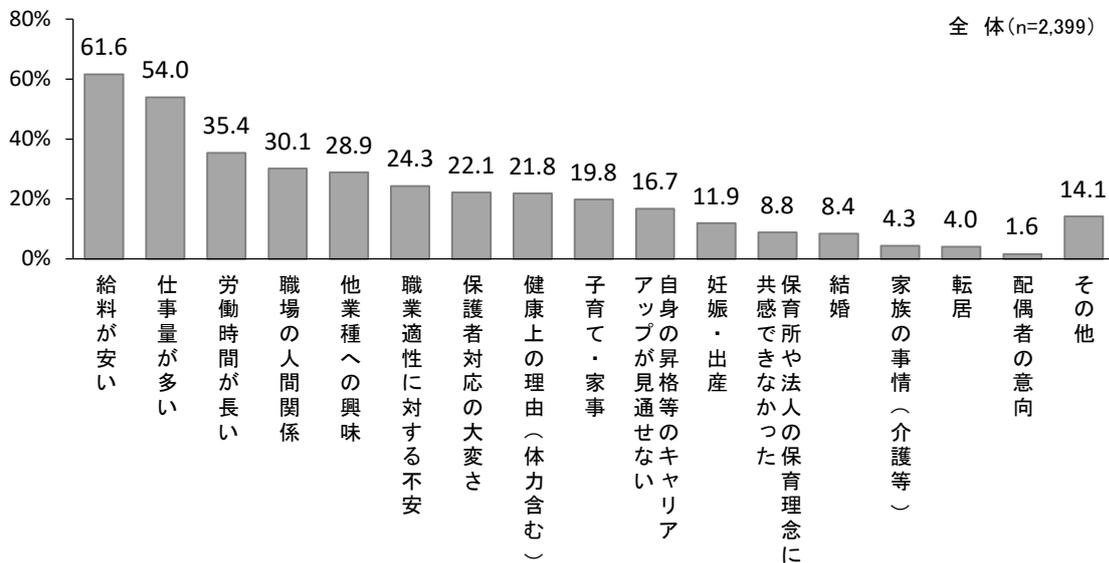
○現在の職場での役職(上位の役職)就任希望の有無は、就任したい(「はい」)は2割台半ば(23.6%)、就任したくない(「いいえ」)は約7割(67.1%)となっている。
 ○役職(上位の役職)への就任を希望しない理由は、全体で「責任の重い仕事をしたくない」が4割強(42.7%)で最も多く、次いで、「役職に見合った昇給が見込めない」(38.2%)、「今の仕事やポジションに満足している」(37.0%)となっている。

保育士就業継続の意向



- 保育士就業継続の意向は、「今後も保育士として働き続けたい」と考えている者が約8割であった。
- 一方、退職を考えている者（「今後は保育士を辞め、保育士以外の職種で働きたい」（19.4%）、「今後は保育士を辞め、働かないつもりだ」（1.9%））の割合は2割強（21.3%）となっている。

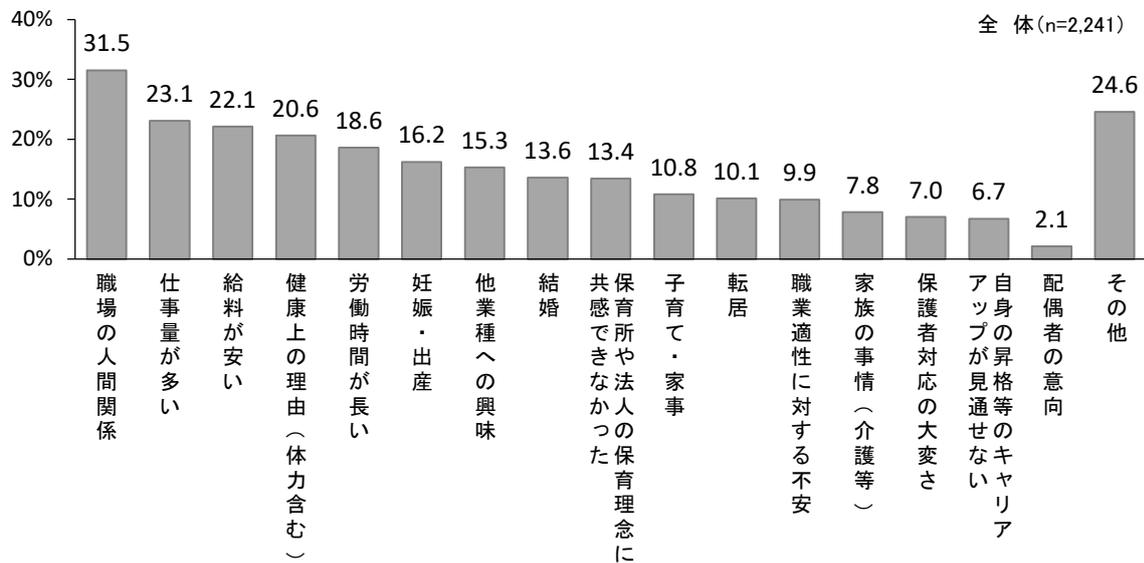
保育士退職意向の理由（複数回答）



- 現在の保育所等を退職したいと考える理由は、「給料が安い」が6割強（61.6%）で最も多く、次いで、「仕事量が多い」が5割台半ば（54.0%）、「労働時間が長い」（35.4%）、「職場の人間関係」（30.1%）となっている。

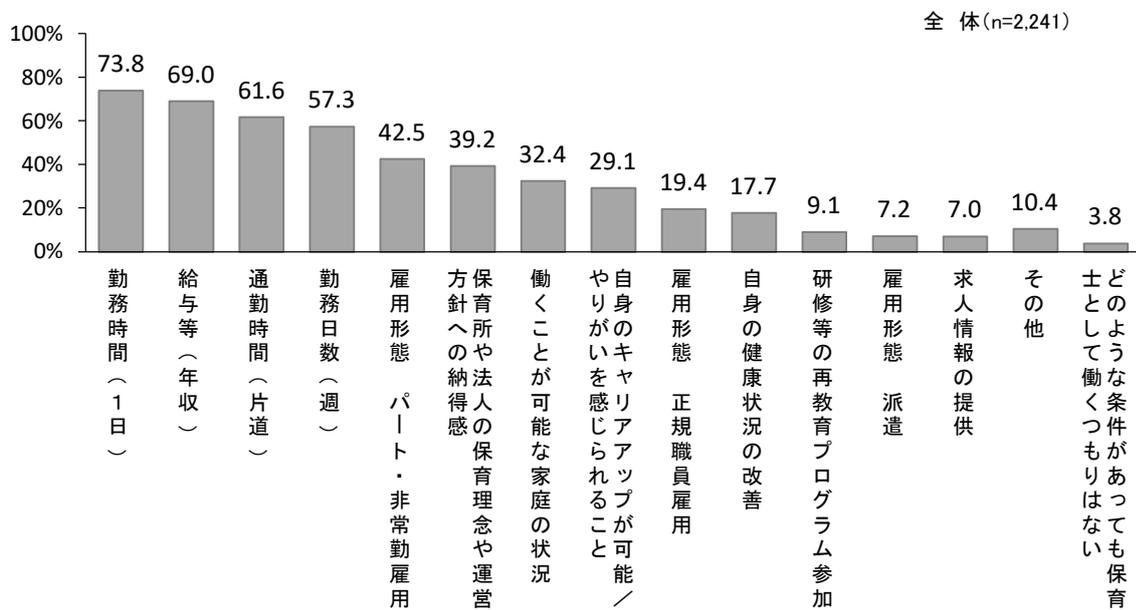
5 過去に保育士就業経験がある者の実態

保育士を辞めた理由(複数回答)



○保育士を辞めた理由は、「職場の人間関係」が3割強(31.5%)で最も多く、次いで、「仕事量が多い」(23.1%)、「給料が安い」(22.1%)、「健康上の理由(体力含む)」(20.6%)となっている。

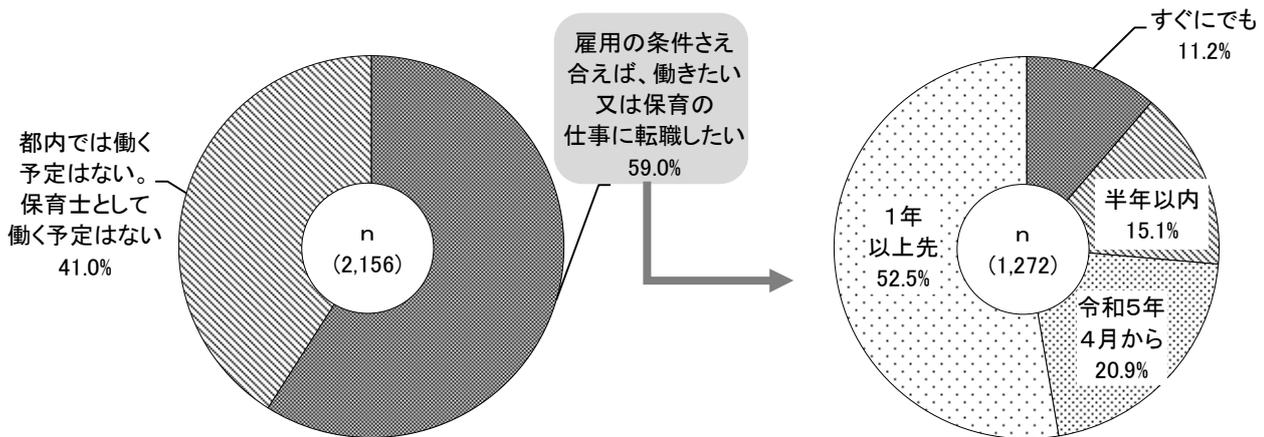
復職する場合の希望条件(複数回答)



○復職する場合の希望条件は、全体で「勤務時間(1日)」が7割台半ば(73.8%)で最も多く、次いで、「給与等(年収)」が約7割(69.0%)、「通勤時間(片道)」(61.6%)、「勤務日数(週)」(57.3%)となっている。

都内における保育士復職意向

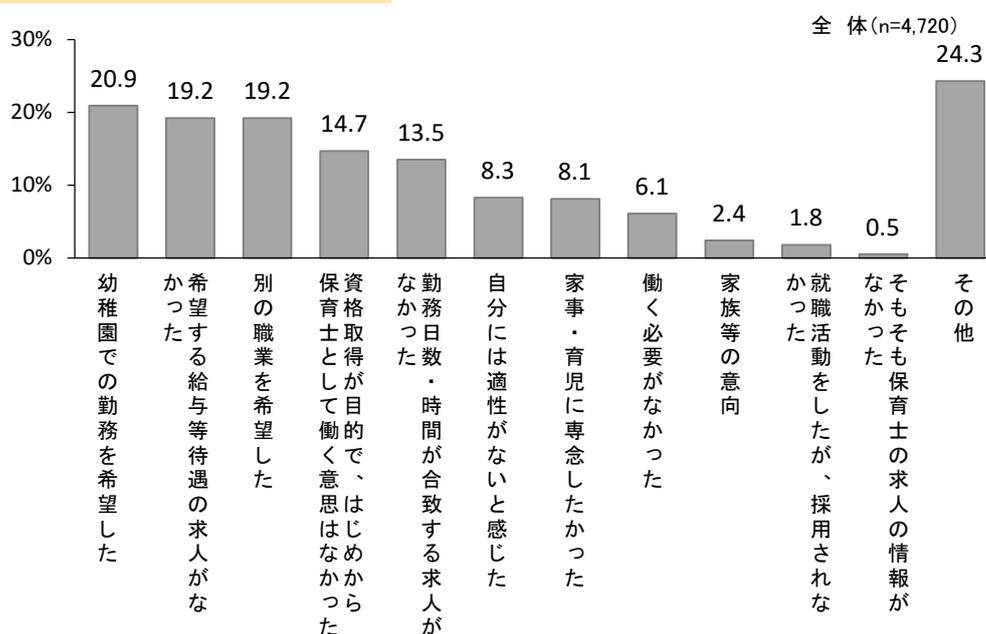
復職希望時期



- 都内における保育士復職意向は、「雇用の条件さえ合えば、働きたい又は保育の仕事に転職したい」が約6割（59.0%）となっている。
- 復職希望時期は、「1年以上先」が5割強（52.5%）と最も多く、「令和5年4月から」が2割（20.9%）となっている。調査時点から半年以内（「すぐにでも」と「半年以内」の計）という者も2割台半ば（26.3%）みられた。

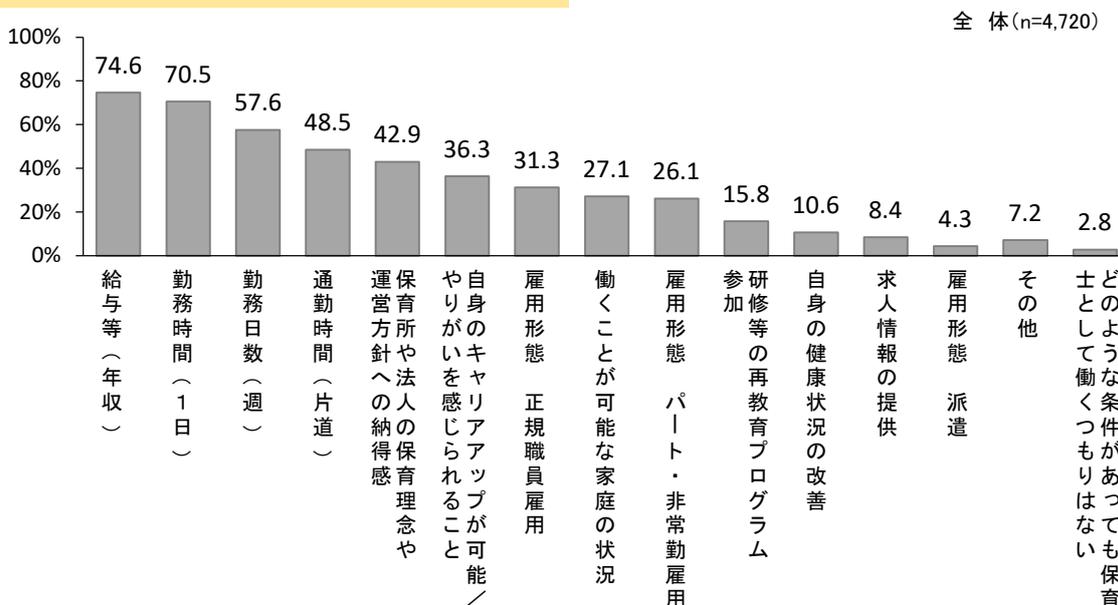
6 保育士としての就業経験がない者の実態

保育士として未就業の理由(複数回答)



○保育士として未就業の理由は、全体で「幼稚園での勤務を希望した」が2割(20.9%)を超え、僅差で「希望する給与待遇の求人がなかった」と「別の職種を希望した」がともに約2割(19.2%)で続いている。

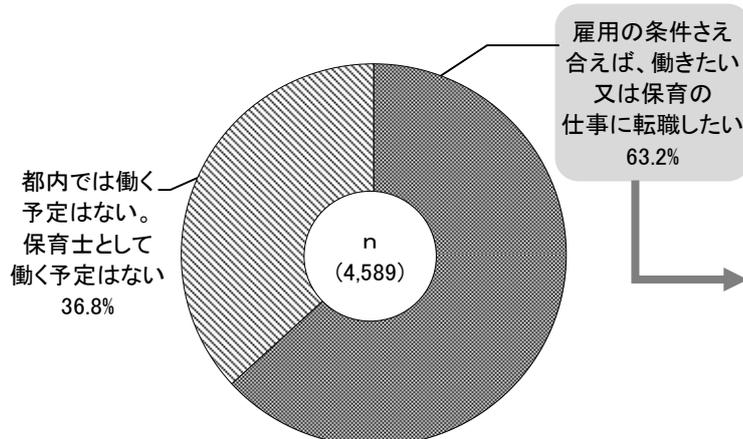
保育士として就業する場合の希望条件(複数回答)



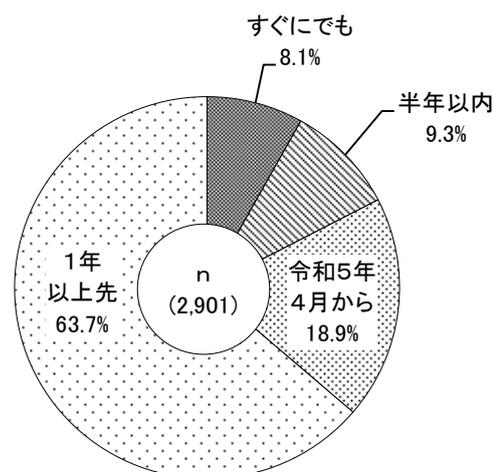
○保育士として就業する場合の希望条件は、全体で「給与等」が7割台半ば(74.6%)、「勤務時間」が7割(70.5%)を超えており、次いで、「勤務日数(週)」(57.6%)、「通勤時間(片道)」(48.5%)となっている。

○一方、「どのような条件でも保育士として働くつもりはない」は 2.8%にとどまり、現在未就業者であっても条件次第で就業に繋がる可能性があると言える。

都内における保育士就業意向



就業意向時期



- 都内における保育士就業意向は、「雇用の条件さえ合えば、働きたい又は保育の仕事に転職したい」が6割台半ば(63.2%)となっている。
- 就業希望時期は、体で「1年以上先」との回答が6割台半ば(63.7%)となっており、「令和5年4月から」が2割弱(18.9%)となっている。調査時点から半年以内(「すぐにでも」と「半年以内」の計)という者も2割弱(17.4%)みられた。

<参考>令和4年度東京都保育士実態調査 報告書(全文)

令和4年度東京都保育士実態調査結果(報告書)については、東京都福祉保健局ホームページにおいて、全文を公表しております。調査結果の詳細については、以下のURL(二次元コード)からご覧ください。

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kodomo/shikaku/r4hoikushichousa.html>

二次元コードはこちら ⇒



発行 東京都福祉保健局 少子社会対策部 保育支援課

登録番号(4)452

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 電話 03(5320)4130 内線 32-753